

## 令和4年1月 定例記者会見(報告)

1 日 時 令和4年3月 24 日(木)15 時～16 時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、読売新聞、毎日新聞、置賜日報  
SAY、NCV

<市>市長、秘書広報課長

4 記者クラブからの質問事項

- (1) 中心市街地から旧大沼米沢店の建物がなくなり、平和通りの一方通行一部解除の日時も決まりました。あらためて、中心市街地活性化についての市長の考えを教えてください。
- (2) 今年度の除雪対策事業費が過去最大になりそうです。今季の雪を振り返って、来季以降に向けた課題や改善策などあれば教えてください。
- (3) その他

5. 内 容

○秘書広報課長

これより令和4年3月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに市長から発言がございます。

○市長

3月の定例記者会見のご質問は2件でした。

1点目は「中心市街地から旧大沼米沢店の建物がなくなり、平和通りの一方通行一部解除の日時も決まりました。あらためて、中心市街地活性化についての市長の考えを教えてください」とのご質問です。この件については、3月議会の代表質問でも答弁したとおりです。4月1日から、平和通りの一部区間となる、主要地方道米沢猪苗代線～ナセ BA 交差点間の一方通行が解除になります。長年、地元から一方通行解除のご要望を受けており、米沢警察署などとも打ち合わせをし、解除に至りました。交互通行により、車両通行の利便性が高まると思います。一方通行解除の良い影響が出て、

中心市街地の人流増加につながることを期待します。

また、旧大沼デパートの解体工事も終わり更地になりました。今後、この跡地にはドラッグストアとフィットネスジムが整備される予定です。デパート跡地は全て民間の施工になります。

また、旧ポポロの跡地については、民間団体が土地利用を検討しています。今後、行政が関与する可能性がありますから、連携をとりながら、民間と行政が一体となって人流を確保していきます。

4月24日から中心地のホテルが運営主体を変えて新たに営業を開始します。こちらについても、人流増加につながることを期待しています。

中心市街地の活性化については、行政としても取り組みながら、民間の力も頂戴して利便性の高いエリアにしていきたいと思えます。

2点目は「今年度の除雪対策事業費が過去最大になりそうです。今季の雪を振り返って、来季以降に向けた課題や改善策などあれば教えてください」とのご質問です。昨年度より降雪量は少なかったようですが、年末からの寒波による降雪の影響で、1月5日時点での積雪深は102 cmでした。過去5年間の平均積雪深の2倍以上になったことで、交通機関の混乱など市民生活に影響が出ました。排雪も含めて対応する必要が出たことから、1月7日に豪雪対策本部を設置しました。その後も断続的な寒波に見舞われ、1月の降雪量は令和2年度比で115%と多かったことや、最高気温が5度を超える日が1月・2月で8日しかありませんでした。気温が低かったこともあり、1月、2月の100 cm以上の積雪深日数は令和2年度よりも16日も多く、雪が消えにくい年だったと感じています。今冬の1月の除雪対策事業費は、令和2年度の1.7倍になりました。主な要因は、雪が消えにくいため、押雪により安全な道路幅員確保ができなくなった主要路線の排雪費がかさんだことです。

今年度は当初予算で7億円、補正予算で5億円、再度の補正予算で4億円、合計16億円の除排雪費用を計上しました。これからの排雪も含めていくらかかるか、最終的な数字はまだ分かっておりません。

来季以降の課題・改善策は、通常除雪時に雪が押し寄せる空き地などを活用することで、排雪回数を抑制していく、ということです。また、住宅街などの除雪路線は、除排雪協力会の組織づくりの拡充を図りながら、協力会により排雪を行っていただくとともに、これまでの組織に対する支援制度も検証する必要があると考えています。

市民の皆様のご協力をいただきながら、少しでも除排雪費用を減らし、他の事業に回せるように考えなければならないと思っています。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上です。以降の進行は幹事社にお渡しします。

○記者

中心市街地について、旧ポポロ跡地は、市が関わる具体的な話がありますか。

○市長

跡地利用を検討している団体ではまだ具体的な計画案を作成できていないようですが、行政も一定の関わりを持つ必要があると思います。具体的にはまだ何も要請はありませんが、公共性が高いものになるとと思いますから、要請があれば考えなければならないと思います。

○記者

一方通行の解除について、解除されて良かったという声も多いとは思いますが、解除されたことで車が普通に通るようになると、歩ける中心市街地という特別感のようなものがなくなってしまうのではないかと思います。町づくりとの両立に向けて考えがあればお聞かせください。

○市長

このエリアのシンボルはナセ BA だと思います。ナセ BA に行きやすい道路網整備のための一方通行解除だと理解しております。中心市街地活性化協議会、商店街の皆様が中心になって西條天満公園周辺でのイベントなど、人を集めるために取り組んでおります。地元だけでの集客では限度がありますから、車を使ってお越しいただけるようになったことで、便利になったと思っております。

民間の方々がどう集客を図るか、企画力が大事になると思います。行政も連携して取り組んでいきたいと思っております。

○記者

除雪に関して、作業員の人材育成支援が今後大事になると思いますが、今考えていることをお願いします。

○市長

オペレーター不足ということが言われています。今も支援をしていますが、それだけで良いのか検討しなければならないと思います。市民の方からは、市職員も免許を取って除雪をしたらどうかという声もいただいておりますが、職務上そこまで対応できるかという問題もあります。除雪のあり方について全体的に検討しながら、除雪をお願いしている民間の建設会社にも人材育成などについて聞き取りをしなければならないと思います。

○記者

先日地震があり、市内でも怪我をされた方がいました。直接的な被害は収まってきたと思いますが、新幹線が止まるなど数日経ってから見えてきた被害や、今後予想される被害はなんでしょうか。

○市長

心配されるのは、果樹の枝折れなどです。まだ雪で被害状況が見えませんが、もう少し時間が経たないと分かりません。また、ハウス栽培の方々は原油価格の高騰などで、すでに苦しくなっており、栽培を辞めざるを得ないという話も耳にします。その中での地震でしたから、被害状況などの検証を今後行う必要もあるかと思えます。

建物への被害は、大きな被害はなかったと認識しております。怪我をされた方については、お見舞い申し上げます。

○記者

新幹線の影響はどうでしょうか。

○市長

米沢市だけでなく、山形県全体に影響が出ていると思います。東北新幹線の場合、仙台から東京に乗り換えなしで行くには常磐線を使うルートになっています。4月2日に福島一郡山間の再開が予定されていますから、山形新幹線は直接東京に行けるようになれば良いと思います。3月30日にJR東日本の仙台支社に行く予定で、そこで山形新幹線再開のお願いをしようと思っていましたが、仙台支社も非常に混乱しているとのことで訪問は延期しました。

新年度を迎える時期で、就職や進学などで都会に行かれる方も多いと思います。また、まん延防止等重点措置が解除され、人の移動が再開されると思います。そういったときに人流が止まってしまうことによる経済的損失もあると判断しています。一日も早い復旧を願います。

○秘書広報課長

これをもちまして令和4年3月の定例記者会見を終了させていただきます。